

在宅医療テーマに
医師が講演、対談

四日市

ニーズに合った在宅医療の実現を考える集まりが十八日、四日市市安島の市文化会館であり、市民ら百八十人が医師二人の講演と対談に聴き入った。

四日市市山城町の「いしが在宅ケアクリニク」理事長の石賀



丈士医師②写真②と、名古屋市昭和区のと、「三つ葉在宅クリニク」の船木良真医師①同②が、在宅医療を

望む人は多くいながら体制が追いつかない現状や、家族の心構えなどを話した。

石賀医師が「家族は必要以上に頑張ってしまう。食事でも塩分計算などは気遣いすぎなくていいと伝えてい

る」。船木医師も「これをしちゃいけない」と病院では言われるが、自由に過ごせれば問題はそう起きない」と話し「地域で孤立せず、困った時に助けてくれる人をつくってほしい」と呼び掛けた。

(神谷円香)